

建設・不動産

SSD専用の物理破壊機によるオンサイト消去

事例内容 情報機器の買取・回収・データ消去 情報機器の訪問（オンサイト）作業

SSD専用の物理破壊機により、現地で300台の物理破壊と破壊証明写真の提出

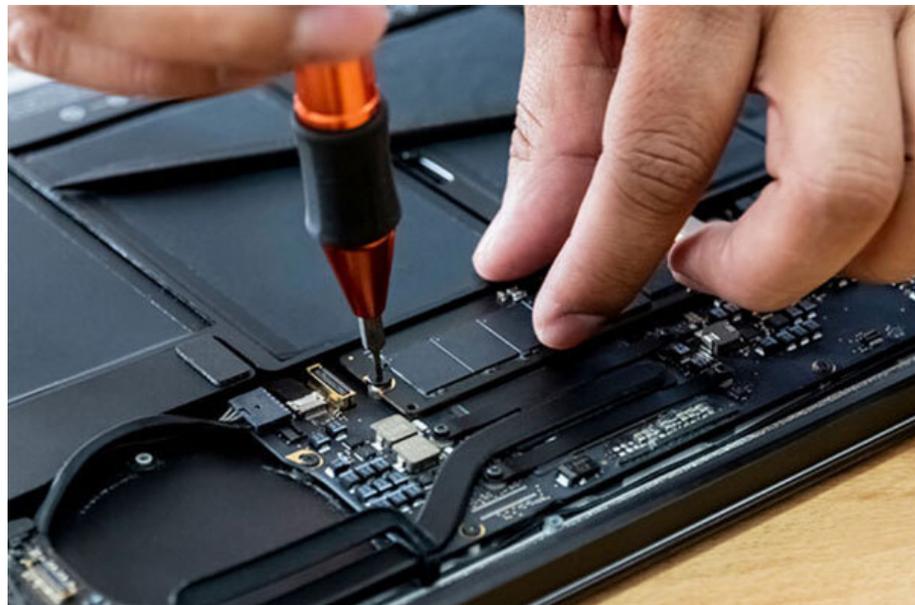
検討課題

新規お取引の大手建設業のお客様。

サイズや形状規格が決まっているHDDの物理破壊はどこの業者も行っていましたが、サイズや形状が複数あるSSDの物理破壊は指定業者では出来ないとのことでした。SSD専門物理破壊機を使用して物理破壊を行い、物理破壊画像等の明確な証明書を発行するのは困難だからです。

また、SSDのデータ消去未完了で外部に持ち出すことが社内規定で禁止されているため、敷地内でHDDとSSDの物理破壊を実行し、その場で消去証明の提出が必要でした。

SSD専用の物理破壊機によるオンサイト消去



現地でSSD専用の物理破壊機による破壊と安全なSSD回収

解決

当社では、HDD専用の物理破壊機に加え、様々な形状・規格が存在し物理破壊が難しいとされているSSDも、SSD専用の物理破壊機で完全破壊し、SSD回収をしています。

SSDは小型化が進んでおり、格納場所もメーカー・機種ごとに変化する可能性があります。そのため当社では抜け漏れ防止のために、注意機種別のSSDの格納場所や取り外し方などを作業員はマニュアルでも共有して取り漏れのないように作業を進めております。

SSD物理破壊の工程としては、まずはSSDが入っているパソコン本体と抜き出すSSDの紐付けを行います。パソコン筐体1台ずつに管理バーコードシールを貼付けし、抜き出したSSDにも同じ管理バーコードシールを貼付けします。その後システム上で紐付けて个体管理をいたします。

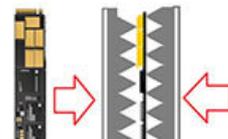
専用機によるSSD物理破壊時には、貼付けした管理バーコードとSSDのシリアル番号が写った状態で物理破壊前と後の写真を撮影し、システム登録後に破壊証明写真を無料で提出いたします。一部破壊状態によりバーコードとSSDシリアル番号が認識し辛い場合もございますが、形状等でご判断できるようにしております。

また、万が一のために、物理破壊したパソコン及びSSDの回収後に、パソコン電源を起動してシステム上からSSDの確認と同時に、目視でもSSDの有無も確認しております。

本案件では、SSD専用の物理破壊機を現地にお持ち込みして、300台のパソコンからSSDを抜き出して物理破壊を実施。物理破壊前と後の証明写真もその場でご提出しました。



記憶媒体の確認箇所マニュアル



SSD物理破壊専用機による記憶領域の破砕

ポイント

SSD専用物理破壊機

オンサイト物理破壊消去

物理破壊証明画像の提出

抜け漏れ防止

SSD破壊・SSD回収